

# はこまち通信 クーポラ

2021.7

vol. **57**

新たな視点でまちづくりに取り組む

## Mission5 交流場所の創出

※詳細は次ページ

#はこまち × #市民活動 × #SDGs

### 17th NPOまつり

1歩ふみだそう / オンライン開催

#### PR動画制作

9月上旬 YouTubeで公開

団体の名刺代わりに  
動画で新たな一面を

動画撮影・編集：(株)シンプルウェイ

#### Zoom交流会 ▶ 参加無料

開催日	交流テーマ
10/3(日)	コロナ禍でも <b>持続する活動</b>
11/7(日)	<b>若者</b> をまきこむ
12/5(日)	<b>フリートーク</b>

Webポスター展 同時開催 ▶ 参加無料

主催：NPO まつり実行委員会  
(函館市地域交流まちづくりセンター内)  
問合せ：電話 0138-22-9700 FAX 0138-22-9800

### ◆ゲスト◆ IIHOE

[人と組織と地球のための国際研究所]

代表者 川北 秀人さん

にお話を聞きました。



## Contents

- 特集 **交流場所の創出** …P2
- **NPOまつり開催のお知らせ**  
**オンラインで会いましょう** …P4
- 一緒に応援しませんか?  
市民活動団体のご紹介  
**フードバンク道南協議会** …P5
- **クーポラ便り** / 配布先・問い合わせ先 …P6
- **INFO & TOPICS** …P7
- センター長 丸藤の  
**『いま 伝えたいこと』** …P8



●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページで公開中です。  
●まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。



Mission5 交流場所の創出

地域の課題を解決するため、まちづくりセンター(以下まちセン)は2007年のオープン以来、5つのミッションを掲げて活動してきました。最終回の今号は『交流場所の創出』について取り上げます。

まちセンではこれまでイベントや作品展等がほぼ毎日のように催され、イベントを主催する市民活動団体からは「自分たちの活動を広く知ってもらえました」「共に活動する仲間が増えました」とのお声を、地域の方からは「まちセンに行けば何かやっているね」「ここはいつもにぎやかで楽しいですね」とのお声をいただけてきました。

この1年はまちセンに限らず、あらゆるイベントや集まりが中止、または延期、規模縮小せざるを得ませんでした。このような状況のなかで、まちセンがどのようにして新たな交流の場所を確保していくのかが、大きな課題となっています。

特集の最終回は、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者 川北 秀人さんをゲストにお迎えし、スタッフ全員で解決策を共有しました。

(2021年3月31日)



■まちセン

これまでは『まちセンに来てもらうこと』が前提でしたので、この状況でいったいどうすれば交流が図れるのか、悩み続けてきました。本当はまちセンに来てほしい、でも表

立って『来て』と言えない。ブレーキを踏みながらアクセルを踏むような、例えるならそんな状況でした。

川北さんのおっしゃるとおり、『場所』と『場』ではとらえ方が大きく変わりますね。このタイミングで気づくことができ良かったです。まさに『発想の転換』ですね。

2021年度は、2年ぶりに主催事業『NPOまつり』を開催予定です。ただし例年と同様、というわけにはいきませんので、今年は初の『オンライン開催』です。これも『交流の場の創出』の柱として進めてまいります。

函館の市民活動団体にはシニア

の会員さんもいらっしゃるの、本番に向けて『オンライン練習会』も必要かと考えています。

■川北さん

年齢による『デジタルの壁』は確かにありますが、高齢者のタブレット端末の保有率は、世界で日本が一番高いですね。もちろん、それでもまだ、スマホやタブレットをもっていない方もいらっしゃいますので、写真を撮ったり動画を撮影したり、実際に使って見せるといいと思います。「みんなそうやって使っているんだ!これはすごく便利だ!」と気付くわけです。

オンラインなど『交流の手法』は増えていますが、リアル(対面)は絶対に復活させなくちゃいけないので、リアルにもぜひ取り組んでください。例えば、みなさんが市民活動団体の活動拠点(事務所等)に『往診』(訪問)して、困りごとや新たな取り組みを聞き取り、新しい発想で『活動の場』を生み出すこと。これも『場の創出』です。

3Pへ続く▶

——今回のクーポラ対談は、まちセンのミッションのひとつ『交流場所の創出』をテーマにお聞きしたいです。(まちセン)



■川北さん

さっそくですがまちセンのみなさんに提案です。ミッションが『交流場所の創出』となっていますが、場所じゃなきゃダメですか? 『場所』だと現状は難しいけど、『場』ならできることがあると思いますよ。ミッションは『交流の場の創出』でもよいのではないのでしょうか。





団体にアンケートを取ることもおススメです。見えてきた団体の課題に、まちセンのみなさんが知恵を絞って、新たな『プログラムの創出』をはじめていただきたいです。

### ■まちセン

そうですね。今年のNPOまつりのテーマを『一歩ふみだそう』と決めました。私たちまちセンスタッフも知恵を絞り、一歩ふみだしていきます。

川北さんは、全国各地の中間支援施設(まちセンのように、地域のNPO・市民活動団体を支援する施設)をご覧だと思いますのでお聞きしたいのですが、まちセンという空間を客観的にご覧になって、どう思われますか？

### ■川北さん

まちセンは何より天井が高いのがいいですね。窓も開けられるの



で、感染症対策を講じながら使える施設だと思います。サーキュレーターもあるとなおいいですね。寒くても窓を開けて換気しなければならなかったのも、この冬はみなさん大変だったことと思います。



### ■まちセン

はい、コロナ禍で迎えた初めての冬は、室内の温度をキープしながらの換気がとても大変でした。昨年末、サーキュレーターの導入も検討したのですが、残念ながら予算の都合上、調達できませんでした。今後も来館されるみなさんの安心、安全のため、何が良いのかを探っていきたいと思っています。

### ■川北さん

今後、感染症が終息したあとの『交流の場(所)の創出』ですが、従来のやりかたに戻すのでは足りないと思います。まちセンのみなさんには、いままで市民活動に興味がなかった方々に働きかける活動を、今のうちからしっかり取り組んでもらいたいです。

例えば地元企業への働きかけや、この空間をいかしたハイブリッドな会議(オンラインとリアル、双方を取り入れた会議)などを、地域の方々に提案してみてください。

### ■まちセン

ありがとうございます。かつてパートだった広い空間を最大限にいかして、新たな交流の場を生み出していきたいと思います。

## ■課題解決に向けての新たな視点

- オンラインとリアル(対面)の相乗効果で『交流の多様化』を目指す



- 団体の活動現場を知り、新たなニーズに応じていく



- まちセンスタッフのさらなる進化により『交流の場』が生み出される

## 今回のゲスト

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者

かわきた ひでと  
川北 秀人さん



1964年大阪府出身。87年に㈱リクルート入社。広報や国際採用などを担当して91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。

地域自治組織の先進地・島根県雲南市の地域自主組織制度を2006年の立ち上げ当初から支援するなかから『小規模多機能自治』の推進を提唱。急速に進む高齢化・人口減少に備えた住民自治や地域経営の在り方を、ともに学んでいる。道内各地でもひんばんに講演・勉強会等を行っており、函館では2021年3月、『小規模多機能自治』をテーマとする講座で講師を務める。(開催した講座についてはP7参照)





函館・道南で活動する市民活動団体のみなさま

# 「第17回 NPOまつり」開催します!!

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止しましたが、

2021年は「一歩ふみだそう」をテーマにオンラインで開催します。

オンライン会議用アプリ Zoom(ズーム)を利用して各団体との交流を図ります。

- ★共感できる仲間を見つける
  - ★他団体と協働する
- きっかけづくりの場として、どうぞご参加ください。



### PR動画制作

受付は終了しました。9月上旬の公開をどうぞお楽しみに。

### Zoom交流会

ゲストスピーカー・参加申込受付日などの詳細は随時HPにてお知らせします。交流会に向けて、Zoom練習会を開催中です。(P5参照)

### Webポスター展

市民活動団体のポスターをデータ化して、まちづくりセンターのHPで公開します。内容更新・新規参加の方はご連絡ください。データ締切は7月31日(土)です。

主催:NPOまつり実行委員会

各種お問い合わせ 函館市地域交流まちづくりセンター内 ☎0138-22-9700 FAX0138-22-9800

#はこだて × #市民活動 × #SDGs

## 17th NPOまつり

「一歩ふみだそう」 オンライン開催

# PR動画制作

9月上旬 YouTubeで公開

団体の名刺代わりに  
動画で新たな一面を

動画撮影・編集：(株)シンプルウェイ

# Zoom交流会 ▶ 参加無料

開催日	交流テーマ
10/3(日)	コロナ禍でも <b>持続する活動</b>
11/7(日)	<b>若者</b> をまきこむ
12/5(日)	<b>フリートーク</b>

Webポスター展 同時開催 ▶ 参加無料

主催：NPOまつり実行委員会  
(函館市地域交流まちづくりセンター内)  
問合せ：電話 0138-22-9700 FAX0138-22-9800



詳細はこちらから▶





一緒に応援しませんか?

## 市民活動団体のご紹介

会員募集中!  
一緒に活動してみたい方は  
お気軽に各団体  
お問い合わせください。

活動  
団体

## ～「もったいない」を「ありがとう!」にかえます～ フードバンク道南協議会



私たちフードバンク道南協議会は、処分せざるを得ない食料を預かり、函館・道南で食料を必要としている方に届けるための『フードバンク事業』を行っています。食料を無駄にせず分かち合い、企業や各団体のみなさんと連携・協力しながら活動しております。

食料を入れる「フードボックス」は運営団体の函館YWCA(松陰町1-12)、北海道国際交流センター(元町14-1)、NPO法人ワーカーズコープ茜・道高齢協道南地域センター(五稜郭町25-6 渡島教育会館)に設置しています。ご提供いただいた食品は子ども食堂・児童養護施設・母子世帯などへ、ボランティアが届けています。

新型コロナウイルスの影響で支援を必要とする方が増えています。配布する食料はまだ不足しており、より多くの方からの支援が必要です。寄付も随時受け付けています。今後はこの仕組みを函館・道南に定着させ、食を通じて人の縁を結び、お互いが助け合う「困ったときはお互いさま」な社会づくりを目指してまいります。



お米、野菜、乾麺、缶詰、レトルト食品等の提供を受け付けています。新聞等の報道により私たちの活動が広く知られ、支援の輪が広がっています。HPもどうぞご覧ください。

- フードバンク道南協議会 代表/廣部 節子 事務局長/中森 司 設立/2018年 会員数/10名  
年会費/正会員 1口3,000円・賛助会員 2,000円・団体会員 10,000円  
住所/〒040-0001 函館市五稜郭町25-6(渡島教育会館内) 電話/080-1897-8749(中森さん)  
http://foodbank.girly.jp/ akane@foodbank.girly.jp

団体設立のきっかけや  
活動内容などの詳細はまちセンHPで

<https://hakomachi.com>



## 市民活動団体のみなさんへ 一歩ふみだそう! Zoom練習会 開催します

NPO まつり (P4 参照) が初のオンライン開催となるのにあわせて事前の練習会を開催します。まちづくりセンターのスタッフと一緒に楽しくオンライン会議の練習をしてみませんか? (参加費無料 要事前申込)

入門編

### ミュートって何? <個別練習会>

【日時】5月～8月の期間中のいずれかの日  
30分～60分程度

※日程・時間等調整しますのでご相談ください

ステップアップ編

### チャットって何? <全体練習会>

【日時】7月5日(月) 10:30～11:30  
8月8日(日) 13:30～14:30  
9月15日(水) 10:30～11:30

【定員】各回10人(要事前申込)



函館市地域交流まちづくりセンター  
市民活動団体の事務所、自宅など



パソコン・Webカメラ・マイク  
タブレット・スマホなど

### 【お申し込み・お問合せ】

函館市地域交流まちづくりセンター  
『Zoom練習会係』(谷口・荻沢)

[nprofes@hakomachi.com](mailto:nprofes@hakomachi.com)



こちらから▶

Zoomを練習して、NPO まつりにオンラインで参加しよう!

Zoom練習会

個別練習会

全体練習会

お申し込み・お問合せ: 函館市地域交流まちづくりセンター 『Zoom練習会係』(谷口・荻沢)まで [nprofes@hakomachi.com](mailto:nprofes@hakomachi.com)

申込方法: 団体名とお名前、参加練習日時、参加場所、知りたことなどを開催7日前までにメールにてお申込ください。



「移住サポートセンター」より3つの新企画スタートのお知らせ

1 『まちセンカフェ』初開催  
(2021年5月～)

市民と移住者の集い『まちセン茶<sup>サ</sup>論<sup>ロン</sup>』が平日開催のため、参加できない…という方に向けて土曜日に『まちセンカフェ』を企画・開催しました。  
今後も参加されたみなさまからの要望をお聞きしながら、『交流の場』を生み出してまいります。



2021年5月15日初開催。  
感染症対策を講じながら開催しました。  
次回の告知はブログ・SNS等で発信します。  
※お茶の提供は行っていません

2 移住者がいるお店MAP発行  
(2021年5月発行)

お店の方から体験談やアドバイス等を聞くことで、移住を希望するみなさんの疑問や不安が和らぎ、函館・道南に移住してみよう!というきっかけになれば幸いです。函館に移住してお店をはじめたいという方もMAPをご活用ください。



掲載店一覧、  
MAPのダウンロードはこちら▶

飲食店・ギャラリーなどで働く方や店主の方のお顔とお店情報を掲載。  
「函館のためなら」と、みなさん快く協力してくださいました。



3 Instagram『住人十色』  
(2021年4月～)

Instagramのコメント欄を使って、みなさんからのご質問にお答えしております。移住にあたって不安なこと、聞いてみたいことはありませんか?はこだて移住コンシェルジュ谷口へのご質問、お待ちしております。

Instagram 『住人十色』

じゅうにんという  
#はこだて暮らし

移住の形は人それぞれ。  
2013年より移住相談に応じた谷口ならではのアドバイスを発信中!  
フォローはこちら▶



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポン』2021年7月 vol.57

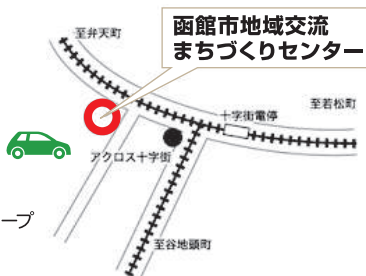
- 発行/ 函館市地域交流まちづくりセンター
- 住所/〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
- TEL/0138-22-9700
- FAX/0138-22-9800
- 開館/9:00～21:00
- 休館日/12月31日～1月3日

<https://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。  
詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。  
2時間まで無料。



指定管理者/  
NPOサポートはこだてグループ  
(2007年4月～)

『はこまち通信クーポン』編集室だより

2020年7月発行のvol.53からスタートした「新たな視点でまちづくりに取り組む」(全5回)の特集は今号で完結しました。各号の「課題解決に向けての新たな視点」をもとに、みなさまと一緒にまちづくりに取り組んでいきます!  
(編集長/谷口 真貴)

●主な配布先(敬称略)

函館市役所1F/亀田支所/湯川支所/銭亀沢支所/戸井支所/恵山支所/椴法華支所/南茅部支所/函館市中央図書館/渡島総合振興局/函館市企業局アクロス十字街/総合保健センター/函館市民会館/函館アリーナ/函館市女性センター/函館市青年センター/函館市公民館/函館コミュニティプラザGスクエア/函館市青少年研修センターふるる函館/中島れんばいふれあいセンター/函館市総合福祉センターあいよる21/函館市勤労者総合福祉センターサン・リフレ函館/亀田交流プラザ/どさんこ交流テラス(東京 有楽町)

取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポン』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。

次号は9月30日発行予定です(年4回)





Instagram

じゆうにんといふ

『住人十色』

#はこだて暮らし

## 事前申込制 まちセン茶論 サロン

市民と移住者の集い『まちセン茶論 (サロン)』を開催しています。10:30~11:30 (午前の部) と13:30~14:30 (午後の部) どちらかをお選びください。参加費無料、事前申込制、定員各5名。

まずはお気軽にお問い合わせください。はこだて暮らしコンシェルジュ谷口がご相談に応じます。

【今後の予定】 7月13日 (火)  
8月10日 (火)  
9月14日 (火)



感染症対策に気をつけて開催しています▶



市民と移住者の集い

自分らしく暮らす

2021

7月13日 (火) 午前の部 10:30~11:30

8月10日 (火) 午後の部 13:30~14:30

9月14日 (火)

定員 各5名 申込み制

毎月のお楽しみ

### まちセン茶論

場所 函館市地域交流まちづくりセンター  
函館市末広町 4-19

函館のこと・日々の暮らしで感じていることなど  
ざっくばらんに話しましょう、聞きましょうという集まりです

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、  
新しい生活様式を取り入れて開催します。  
ご協力よろしくお願いいたします。

お問合せ 緑色サポートセンター ☎0138-22-9700  
(函館市地域交流まちづくりセンター内)

## NPO法一部改正のお知らせ

特定非営利活動促進法 (NPO法) の一部が改正され、令和3年6月9日より施行されました。このことにより団体設立の迅速化・事務負担の軽減が図られます。

詳しくは、内閣府NPOホームページをご覧ください。

内閣府NPOホームページ▶



## まちセンHPリニューアル

2021.4.1(木)~

まちづくりセンターの役割や施設情報などがより伝わるHPを目指して、トップページデザイン等の更新を行いました。

初めてご覧になる方でも安心して情報を探せるようトップページに外観写真を表示。手動式エレベーターの案内も表示しました。今後もみなさんに役立つ情報を発信してまいります。

<https://hakomachi.com>▶



## 小規模多機能自治ってなに？地域づくりの始め方、進め方、育て方

2021.3.30(火)

全国よりも早いペースで少子高齢化が進む函館が抱える課題解決・地域づくりのためにいま『できること』とは。

川北さんの著書『ソシオ・マネジメント』『vol.3小規模多機能自治』『vol.6 続 小規模多機能自治 ~地域経営を始める・進める・育てる88のアクション~』をテキストに、住民自治や地域経営のあり方を学ぶ講座を開催しました。



詳しくはこちら▶



講師に全国各地で地域づくり『小規模多機能自治』の支援を続けており、事例を知りつくしている川北 秀人さん (IIHOE代表者) をお招きしました。  
(川北さんについてはP2~P3参照)

★まちセンスタッフも複数参加しました。

各種お問い合わせ 函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700







## センター長 丸藤の「いま伝えたいこと」

### 「小規模多機能自治」の推進に向けて

**小規模多機能自治** 発祥の地、島根県雲南市は「日本で一番チャレンジに優しいまち」を実践しています。市のホームページを見ると『雲南スペシャルチャレンジ』と題し、中高生へはチャレンジ精神を養うこと、大学生には地域で学ぶこと、若者向けでは仕事を生み出すことに対して、ふるさと納税等を活用しての資金面も含めたサポートの仕組みが紹介されています。

雲南市がこれほどまでにチャレンジに優しいのは、25年先を進んでいると言われる高齢化があるからです。10年先も20年先もみんなが自分らしく暮らせる地域にするためには、そこに住んでいる人が自ら地域の課題解決に向けたチャレンジをしていく必要があります、その軸になるのが若者というわけです。

実は大人に対しても「大人チャレンジ」として、地域自主組織によるまちづくりを支援しています。それが、地域内のことを地域の人たちが自分たちで考え、課題解決策を決め、実行していく小規模多機能自治につながっているのです。

**函**館市でも、高齢化は全国平均より約20年早く進んでいます。まちづくりセンターがオープンしてからの約15年を見ると、特に独り暮らしの後期高齢者の急増と、若者の減少が加速していることが分かります。

**こ**れらの課題を乗り越えるためには、高齢者の健康が地域の資源であり資産だと捉え、福祉・防災・生活支援を一体で考え、若者や女性の気持ちや力を活かす地域づくりが必要になってきます。多世代や、様々な立場の人たちがお互いの力を出し合って未来をつくっていく仕組みづくりが今の函館には急務です。市内でも高齢化が進んでいる地域のひとつである西部地区からこのまちを見つめ、共に歩んできたまちづくりセンターだからこそ、そのことを強く感じてしまいます。

**私**たちが小規模多機能自治を強く推し進めたいという思いも、そこから来ています。一人でも多くの方と、実現に向け一緒に学んでいきたいと思います。

#### 1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間 / 10:00~15:00
- 定休日 / 土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。

函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

**【オススメ】土偶クッキー 800円** (2枚×6袋入 税込)



#### 1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間 / 10:00~17:00 (変更の場合あり)
- 定休日 / 水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
- 営業時間など最新情報はお店のSNSをご覧ください▶

**【オススメ】いちごヨーグルトスムージー 450円** (税込 / 数量限定)



[喫茶・ショップお問合せ先] 電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター

